

## 郡上農林事務所の普及活動状況 令和6年2月29日現在

### 今月の重点活動

#### ■青年農業士 高校生に出前講座を開催

青年農業士の藤村氏が「あなたの知らない畜産の世界」と題して、2月8日に郡上高校の園芸科学科2年生と総合農業学科群1年生の約70名に対して出前講座を行った。

この出前講座は、地元の高校生が若い農業者の話を聞き、地域の農業に関心をもってもらい、将来農林業に関わる職業に就くことを目的に毎年開催されている。今回は、繁殖や肥育の違いなどの畜産の話や、6次産業化の取り組みなど藤村氏自身の経営を紹介した。

農業普及課では、進路先として県の機関である農業大学校、国際園芸アカデミー、森林文化アカデミーを紹介した。今後も、若い農業者の育成・確保について、関係機関と連携して取り組んでいく。



【青年農業士が高校生に講義】

### 郡上の農業・農村を支える人材育成

#### ■農業経営 高鷲地域で農業経営に関する勉強会を開催

郡上市の高鷲地域農業従事者を対象に、税理士が講師となり、経営管理支援を目的とした、税に関する勉強会が2月8日に開催された。勉強会では、税金の使われ方や、所得税や相続税など、様々な税に関する項目について講義がなされ税の知識を身に着ける機会となった。

農業普及課では、関係機関の取り組みを支援するとともに、農業従事者の経営管理能力の向上を今後も図っていく。



【勉強会の様子】

### 安心して身近な「郡上の食」づくり

#### ■GAP 就農を開始する農業者にGAP説明会を開催

来年度から夏秋いちご栽培を開始する農業者に対し、2月21日にGAPの説明会を開催した。

県庁農業経営課の革新支援専門員が講師となり、GAPの意味、意義を説明した。農業の現状の問題点、GAPの考え方の土台となる部分、GAPで改善できることなどを農業者に理解してもらった。

農業普及課では、関係機関と連携し、GAP認証取得を推進し、農業者が農業経営を安全に持続できるよう支援していく。



【説明会の様子】

## 郡上農畜水産物のブランド展開

### ■夏秋トマト 夏秋トマト部会 個別面談を開催

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会では2月9～21日に個別面談を開催し、栽培、資材部門に分かれて昨年の栽培の振り返りと今年作に向けた栽培管理の改善方向について検討した。

去年は、梅雨明け後の猛暑による花落ちや、褐色輪紋病の多発が出荷量を低下させる一因となった。

こうした中、農業普及課では、遮光資材活用による猛暑対策や褐色輪紋病の状況確認と対策、また土壌診断結果に基づく施肥体系や計画的な土づくりについて個々に助言し、シーズンを通して安定した出荷ができるよう提案を行った。近年トマト栽培が難しい状況が続いているが、夏秋トマト産地の振興支援を継続していく。



【各部門に分かれて  
個別面談を実施】

### ■南天 理事会を開催し昨年実績を検討

郡上八幡南天生産組合は、第4回理事会を2月20日に開催した。理事会では昨年の出荷実績や「郡上南天フェス」の実施結果について、理事の間で情報が共有された。農業普及課からは、去年は表作で出荷量の増加が予想されていたが、見込みよりも出荷量が少なくなった原因の考察と、今後の対策について説明した。

郡上の特産品である南天については、若手生産者が活躍する「郡上南天フェス」も地域のイベントとして定着しつつあり、農業普及課では、生産だけでなく地域振興も含めて支援を続けていく。



【理事会の様子】